

30. 県内業者・県内産建設資材 の活用について

技 第 28 号
平成 18 年 4 月 26 日
技 第 57 号 一 部 改 正
平成 19 年 6 月 4 日
技 第 32 号 の 1 一 部 改 正
平成 22 年 4 月 30 日
技 第 123 号 の 1 一 部 改 正
平成 22 年 9 月 1 日
技 第 98 号 の 1 一 部 改 正
平成 24 年 7 月 28 日
技 第 48 号 の 1 一 部 改 正
平成 27 年 5 月 25 日

県内業者・県内産建設資材の活用について

このことについて、従来から共通仕様書や入札条件等により、受注者に対し、下請業者について県内建設業者の優先選定及び建設資材・物品等について奈良県産品の優先調達を図ることとしている。今回、県内業者の一層の育成を目的に、以下のとおりより一層の優先使用を図ることとする。

1. 下請業者の県内建設業者の優先選定

下請契約を締結する場合には、当該契約の相手を「県内に主たる営業所」を有するものの中から選定するよう努めることについて受注者に求めること。

2. 建設資材等の奈良県産品優先調達

(1) 地場産業の活性化を図るため、建設資材・物品等調達については奈良県産品の使用をより一層努めることについて受注者に求めること。

奈良県産品とは次の①から②に示すものとする。

- ① 県内の工場等（本店が県内にあり、工場が県外にある場合も含む）で製造・加工された資材・製品
- ② 奈良県リサイクル認定製品

(2) 建設資材のうち生コンクリート、コンクリート二次製品、道路舗装材料類(※ 1)（以下「3品目」という。）及び奈良県リサイクル認定製品（土木資材(※ 2)）の使用については、次に示す①から③の報告書（様式1）の提出を受注者に求めること。

- ① 資材調達予定を工事着手前に報告【当初報告】
- ② 当初報告に変更・追加が生じた場合【変更・追加報告】
- ③ 資材調達結果を竣工検査前に報告【完成報告】

(3) 受注者が3品目で奈良県産品（以下「県内産建設資材（3品目）」という。）が調達できるにもかかわらず奈良県産品以外を使用する場合は、その理由を付した書面（様式2）を求めること。

様式2の提出時期は、様式1と同じとする。

(4) 上記(2)の報告内容により下記条件を満たせば、工事成績評定の際に加点評価する。ただし、諸経費に含まれる資材、転用可能な資材等や工場製品の材料に使用されるものは対象外とする。

- ① 県内産建設資材（3品目）を各品目毎に全種類・全量を使用
（創意工夫考査項目のその他で各品目毎に1点、最大3点を加点）
※ 「各品目毎」とは、
生コンクリートについて全種類・全量使用――― 1点
コンクリート二次製品について全種類・全量使用―― 1点
道路舗装材料類について全種類・全量使用――― 1点
それぞれで1点、最大3点の加点。
- ② 奈良県リサイクル認定品（土木資材）を全量使用
（創意工夫考査項目のその他で2点を加点）

※ 1…アスファルト合材、インターロッキングブロック、再生粒度砕石、再生クラッシュラン

※ 2…奈良県リサイクル認定製品パンフレットに土木資材として記載のあるもの

建設資材 (3品目) 等使用報告書(○葉中の○)
 (当初 変更 追加 完成)

年 月 日

_____様

会 社 名 _____

氏 名 _____



住 所 _____

工 事 番 号 _____

工 事 名 _____

工 事 箇 所 _____

請 負 金 額 _____

県内 資材 区分	製 品 目	製 品 名	規 格	単 位	数 量	購 入 先		製 造 先		備 考
						業 者 名	所 在 地	業 者 名	所 在 地	

建設資材（3品目）等使用報告書(○葉中の○)

年 月 日

県内 資材 区分	製 品 目	製 品 名	規 格	単 位	数 量	購 入 先		製 造 先		備 考
						業者名	所在地	業者名	所在地	

建設資材(3品目)等使用報告書(○葉中の○)
(当初 変更 追加 完成)

記入例

年 月 日

○△□土木事務所
所長 ○○ □□ 様

納入契約を締結する企業名
(メーカー、工場、商社、問屋
等)、所在地

建設資材の製造工
場名、所在地

会社名

氏名

住所

工事番号

工事名

工事箇所

請負金額

印

○:製造又は加工が県内企業。
×:上記以外の資材を使用した場合。

県内 資材 区分	製品 品目	製品名	規格	単位	数量	購入先		製造先		備考
						業者名	所在地	業者名	所在地	
○	生コンクリート	生コンクリート	高炉B 18-8-40	m ³	1,000	○△生 コン会 社(株)	○△市 ○△町	○△生 コン会 社(株)	○△市 ○△町	
	コンクリート 二次製品	自由勾配側 溝	300*500*2000	本	50	○□コン クリ(株)	○□市 □□町	○□コン クリ(株)	○□市 □□町	
	コンクリート 二次製品	管渠型側溝	300*300*2000	本	90	(株)×△コ ンクリ	×□市 ×□町	(株)×△コ ンクリ	×□市 ×□町	
	コンクリート 二次製品	自由勾配側 溝ふた	T-25 300用	枚	270	○△砕 石(株)	○△市 △△町	○△砕 石(株)	○△市 △△町	
	コンクリート 二次製品	コンクリート積み ブロック	300*400*350	m ²	800	○□コン クリ(株)	○□市 □□町	○□コン クリ(株)	○□市 □□町	
	コンクリート 二次製品	大型積みブ ロック	100*998*1000	個	200	△×コン クリ(株)	△×市 △×町	△×コン クリ(株)	△×市 △×町	
	道路舗装材料 類	アスファルト合材	再生密粒度ア スコン	トン	450	▽▽合 材工場 (株)	○△市 ◇◇町	▽▽合 材工場 (株)	○△市 ◇◇町	

奈良県内産品資材を使用しない理由書(○葉中の○)
(当初 変更 追加 完成)

年 月 日

_____様

会 社 名 _____

氏 名 _____ (印)

住 所 _____

工 事 番 号 _____

工 事 名 _____

工 事 箇 所 _____

請 負 金 額 _____

製品 品目	製 品 名	理 由

奈良県内産品資材を使用しない理由書(○葉中の○)

年 月 日

製品 品目	製 品 名	理 由

様式2(県産品活用)

奈良県内産品資材を使用しない理由書(○葉中の○)
(当初 変更 追加 完成)

記入例

年 月 日

○△□土木事務所
所長 ◎◎ □□ 様

会 社 名 ◎○△□会社(株)

氏 名 代表取締役 ◎○ △□ (印)

住 所 ◎○市△□町1-1

工 事 番 号 ○○第○-○号

工 事 名 □□道路改良工事

工 事 箇 所 ◎◎市□□町

請 負 金 額 ¥100,000,000

製品 品目	製 品 名	理 由
生コンクリート	生コンクリート	具体的に理由を記載して下さい。
コンクリート 二次製品	ボックスカルバート	具体的に理由を記載して下さい。
道路舗装材料 類	インターロッキング	具体的に理由を記載して下さい。
コンクリート 二次製品	L型擁壁	具体的に理由を記載して下さい。
		【記載例】
		× 購入単価が安価なため → ○ 購入単価が県内業者に比べて10%安価なため
		× 購入単価が安価なため → ○ 運搬距離が短いため、購入価格が安価となる
		× 以前からの取引先のため → ○ 10年前からの取引先のため(取引年数を記入)